

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3,791	t-CO ₂
（温室効果ガス削減換算排出量）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		3,791

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績		
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			%		%	%	%
温室効果ガスみなし総排出量					t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）					%	%	%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績		
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
原単位当たりの排出量	0.9463	t-CO ₂ / 時間	0.9179	t-CO ₂ / 時間	0.9442	t-CO ₂ / 時間	t-CO ₂ / 時間
削減率（対 基準年度）			3.0	%	0.2	%	%
原単位当たりのみなし排出量					t-CO ₂ / 時間	t-CO ₂ / 時間	t-CO ₂ / 時間
削減率（対 基準年度）					%	%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

前年度GHP空調故障により、空調が使用できない箇所がありましたが、フードコートGHP空調の更新工事を行い、フードコート空調を全て可動させたため目標を達成できなかった。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動実践 冷暖房	日々の外気・館内の温度を参考にし、空調の運転時間を最適化する。 外気の取入れを有効に利用し温度負荷を減らす。	空調及び外調機の運転管理の調整により年間使用量1%減を目指す。	中間期に外気を積極的に取り入れた。
省エネルギー・省資源の行動実践 冷暖房	定期的は空調フィルターに洗浄の実施。 空調機の室内機及び室外機の洗浄の実施。	空調全部の空調フィルターを清掃する。	年4回フィルター清掃実施
省エネルギー・省資源の行動実践 照明	照明器具を高効率なものに変更する。 不要な照明を消す。		照明器具が故障したときはLED器具に置き換えた。
省エネルギー・省資源の行動実践 エレベーター・エスカレーター	運転時間を見直し運転時間を最小限にする。 不要なエレベーター・エスカレーターは停止する。		後方エレベーター1基を毎日午後から停止。
廃棄物の排出抑制	両面コピー、裏紙利用を促進し、コピー用紙の有効利用を図る。 テナント排出ゴミについても分別を実施し、リサイクルできるものはリサイクルする。		両面コピーと裏紙使用し、カラーコピーも原則使用しない。

指針第2号様式

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標 (2030年度)	
	令和 6年度		令和 7年度		令和 8年度			
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	17.4	%		%		%		%

イ 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
k1	t-CO ₂

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(4) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

日
